記者発表資料

水資源機構

令和７年７月１７日
独立行政法人水資源機構
木曽川上流ダム総合管理所

阿木川（あぎがわ）ダムで防災操作を実施

～ ダムの効果で下流河川の水位を約0.56m低減～

独立行政法人水資源機構（みずしげんきこう）が管理する阿木川ダムでは、7月14日から15日にかけて強い雨が降り、増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を実施しました。

この防災操作により、阿木川ダムの約2.5km下流にある大門（だいもん）水位観測所（以下「大門地点」という。）では、ダムが無い場合と比べて河川水位を推定約0.56m低減することができました。

【防災操作の概要】

木曽川水系阿木川の阿木川ダム流域では、7月14日から15日にかけて総雨量約174mmの降雨を記録しました。

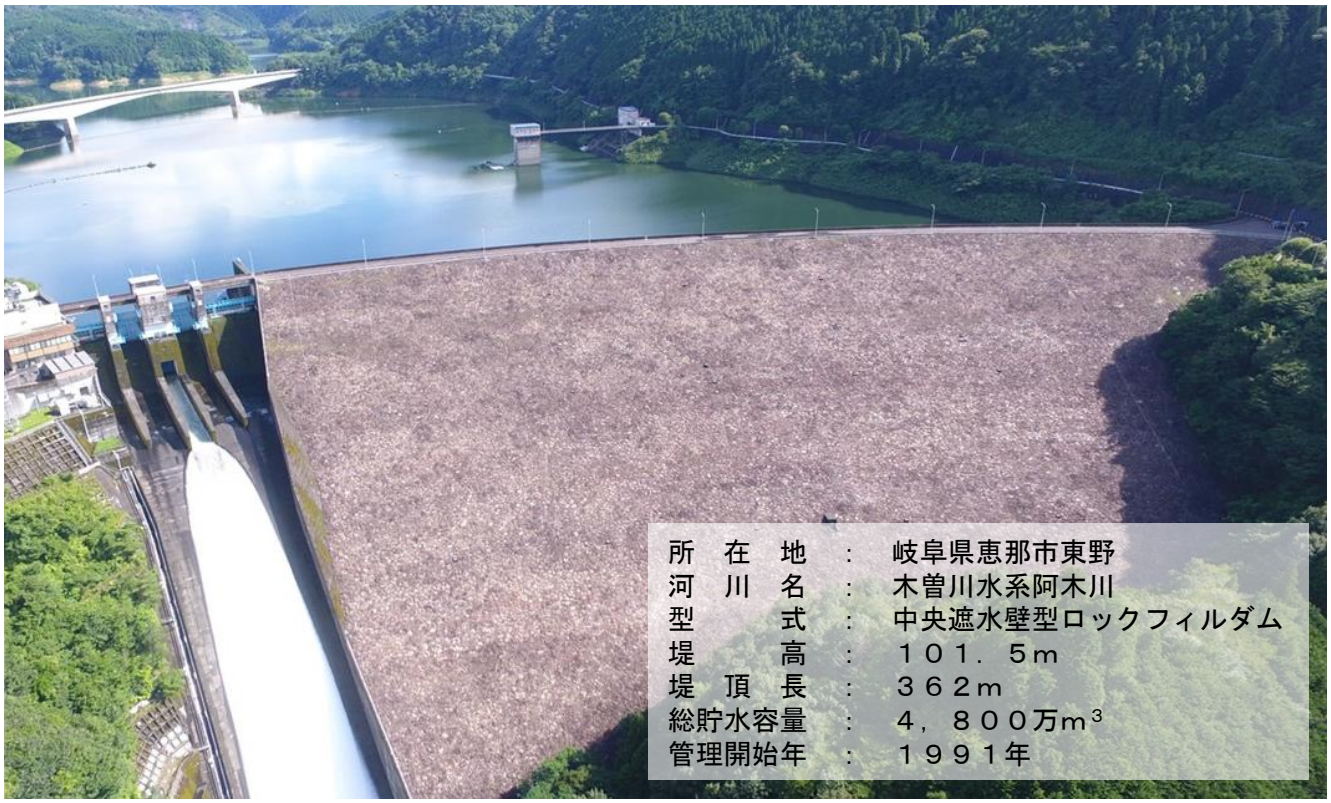
この降雨により、阿木川ダムへの流入量は最大毎秒約223立方メートルを記録しました。このうち、約48%に相当する毎秒約106立方メートルの流水をダムで調節し、合計で約131万立方メートルの水を一時的に貯留することで、河川水位の上昇を抑える防災操作を行いました。

※本資料に掲載されている値は全て速報値であり、今後の調査により変わることがあります。

発表記者クラブ：　恵那記者会、中津川記者会

お問合わせ先 ： 木曽川上流ダム総合管理所　管理課長　古田（ふるた）
住　　所：〒509-7202　岐阜県恵那市東野字花無山2201-79
電　　話：0573-25-5295
HPｱﾄﾞﾚｽ：https://www.water.go.jp/chubu/kisojoryu/index.html

阿木川ダムの位置図

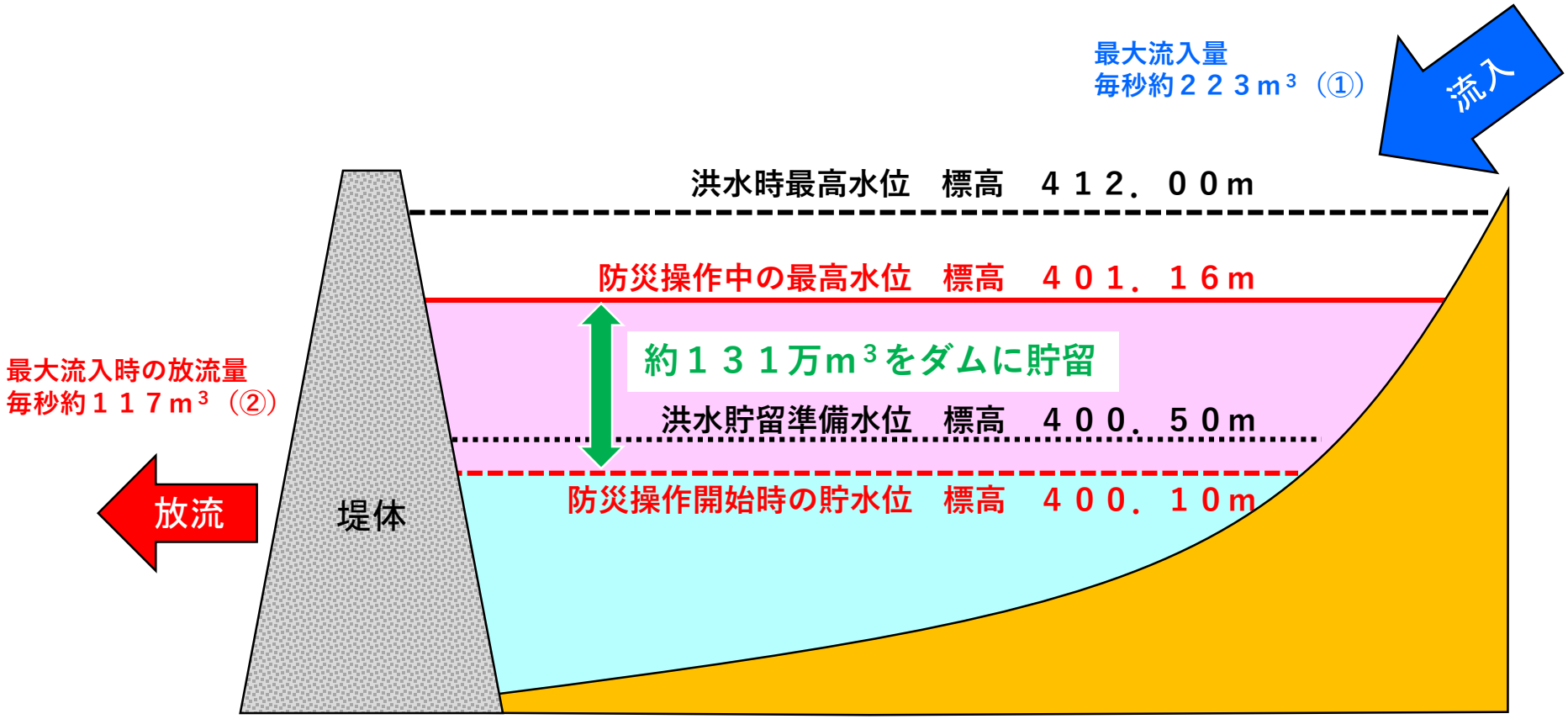


阿木川ダム

阿木川ダムの防災操作（イメージ図）

ダム防災操作YouTube動画

最大流入量のうち、約４８％に相当する
毎秒約１０６ｍ³（①－②）をダムに貯めました。



※記載している値は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

防災操作によるダム下流水位低減効果

※Google Mapに加筆

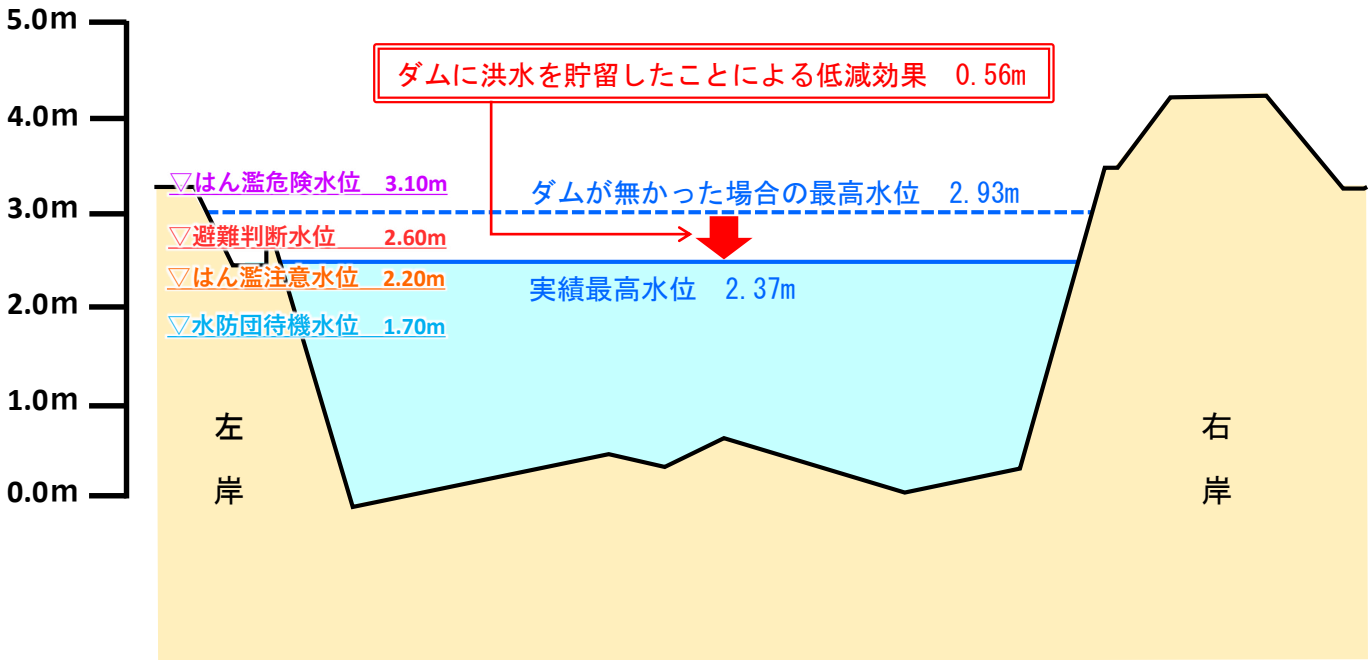
大門地点

①ダムがなかった場合、避難判断水位2.60mを超える2.93mまで水位が上昇したと推定されます。

②阿木川ダムの防災操作により、避難判断水位以下の2.37mまで水位を抑えることができました。

防災操作による河川水位の低減効果

①－②＝2.93m－2.37m＝0.56m



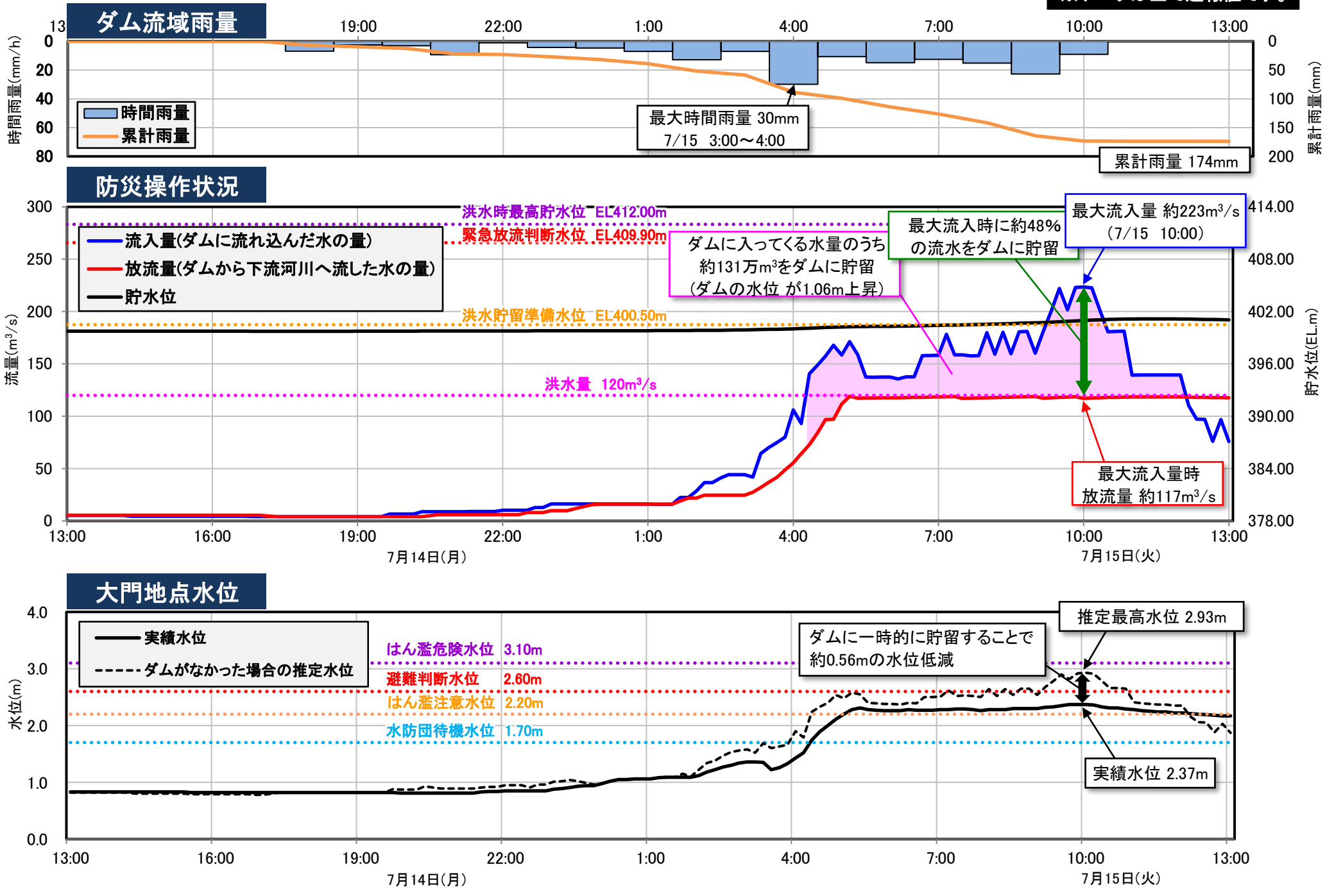
大門地点　河川横断図（低減イメージ図）

大門地点　現地写真（平常時）（参考として令和５年６月１日の写真を掲載）

大門地点　現地写真（洪水中）（令和７年７月１５日１１時００分頃撮影）

阿木川公園　現地写真（平常時）（参考として令和５年６月１日の写真を掲載）

阿木川公園　現地写真（洪水中）（令和７年７月１５日１１時００分頃撮影）

阿木川ダム防災操作図　令和7年7月14日～15日

※データは全て速報値です。